

オロチさんとしろくまさんの  
打ち水 絵巻

夏の暑さを風流に  
乗り切ろう!

花屋でござる。



どーぞえ、  
料だろう。



おっとと。



車馬往来に  
注意すべー

勢いあまり、人や車に  
水をかけるのは御法度!  
左右をよく見ながら  
打つのが吉。

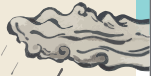
朝ぞす。  
起らませう。



朝夕の涼しい時間に  
行よべー

炎天下の打ち水は、  
焼け石に水で、蒸し風呂に!  
おてんとうさまの  
上からゆうち、落ちてからの  
打ち水が吉。

けふは雨だ。



残り水、雨水などは  
使よべー

夏の水道水は値千金。  
打ち水に使うのは禁物!  
ためておいた雨水や  
お風呂の残り湯などを  
使うが吉。

夏の風物詩、  
打ち水を料に  
楽しむべー

手桶を片手に、  
手で打ち水するが料!  
ひしゃくで扇型に見事に  
打ち水するも料!

花木の水やりも  
怠るべからず

木陰をつくり、涼気を  
呼び込む花木に、  
水を少しおすそわけし、  
元気づけるが吉。